



新型「フェアレディZ」全グレードの価格を 発表

日産自動車株式会社

2022年04月25日

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：内田 誠）は、25日、新型「フェアレディZ」全グレードの価格を発表しました。



新型「フェアレディZ」

「フェアレディZ」は、これまでに世界で180万台以上の販売を誇る、世界中のファンに愛されるスポーツカーです。新型「フェアレディZ」は、歴代モデルのオマージュを感じさせるデザインをまといながら、先進技術がもたらすダイナミック・パフォーマンス、そして心を震わせるサウンドで、今までの、そしてこれからの「フェアレディZ」のファンの方々にワクワクをお届けします。

爽快でダイナミックなパフォーマンス

・新開発3リッターV6ツインターボエンジンは、最高出力298kW(405PS)、最大トルク475N・m(48.4kgf・m)と、出力を大幅に向上させながら、シャープでスムーズなレスポンスを実現しました。

・6速マニュアルは、大トルクのVR30DDTTエンジンに対応するため、クラッチディスクとギヤトレインを強化しました。また、新設計のシンクロナイザーシステムの採用やシフトプロファイルの変更により、ドライバーの意のままのスムーズなシフトチェンジを可能とします。

・新開発の9速オートマチックは、幅広いギアレンジによりダイレクトで素早いレスポンスを実現します。また、ドライブモードは、普段使いや高速道路でのロングドライブに最適なSTANDARDモードと、ワインディングロードなどでアグレッシブな走行を楽しみたいときに走りのポテンシャルを追求するSPORTモードから選択できます。SPORTモードは、エンジン、トランスミッションのレスポンスを高め、ステアリング反力やVDC制御を最適化します。

・日産の後輪駆動車として初めて、停止状態から加速性能のポテンシャルを最大限発揮する自動制御技術ローンチコントロールを搭載し、加速タイムを向上しました。

・「フェアレディZ」らしい走りであるシャープな回頭性を実現するため、フロントボディ周辺とリヤクロスメンバーを重点的に強化し十分なねじり剛性を確保しました。さらに、直進性を高め、修正舵を低減するフロントハイキャスターサスペンションと、路面との接地性が向上する高応答モノチューブダンパー、また新開発のタイヤも採用しています。さらに、バックドアとその周辺の剛性を高めることで振動音を低減し、走行時の快適性を向上しました。

伝統と最新技術の融合で生まれたデザインの美しさ

<エクステリアデザイン>

・洗練されたエクステリアは、伝統的な後輪駆動のスポーツカーデザインを踏襲し、ロングノーズ・ショートデッキなど、初代「フェアレディZ (S30型)」をはじめとする歴代「フェアレディZ」へのオマージュを込めたシルエットに仕上げています。

・LEDヘッドランプのデザインは、初代「フェアレディZ (S30型)」を彷彿とさせる2つの半円をイメージしており、新型「フェアレディZ」のアイデンティティと調和しています。また、リヤコンビネーションランプは、Z32型を連想させるデザインに最先端の技術を取り入れ、新たに3DシグネチャーLEDを採用し、「フェアレディZ」らしさを表現しています。

・ボディカラーは、モノトーン3色と、新色のセイランブルーとイカズチイエローを含む2トーン6色（いずれもスーパーブラックルーフ）の、合計9色を用意しました。

<インテリアデザイン>

・新型「フェアレディZ」のセンタークラスターは、初代「フェアレディZ (S30型)」の3連サブメーターとエアコン吹き出し口、コントロールスイッチ類を積み上げた操作性に優れたデザインを現代的な技法で再構築しました。また、インストルメントパネル上の3連サブメーター（ブースト計、ターボ回転計、電圧計）は、歴代「フェアレディZ」同様の電圧計と走行中ターボの状態を把握できる2つのメーターを配置。ヘリテージを感じさせるデザインです。

・アドバンスドドライブアシストディスプレイ（12.3インチカラーディスプレイ）はドライバーの好みに合わせて変更できる3つの表示モードを用意しています。フェアレディZ専用のスポーツモードはSUPER GT500ドライバーである松田次生選手からのアドバイスにより、タコメーターを中央に配置、シフトアップタイミングが分かるシフトアップインジケーターを設定しました。レーシングカーと同様に、インジケーターはエンジン回転数に応じ緑から黄色、赤と順に点灯します。そして、エンジン最大回転数に達しタコメーターの針が一番上になると、シフトアップインジケーターが点滅するので、ドライバーは最適なタイミングでシフトアップすることができます。

・新設計のMTシフトノブは握りやすさと操作性を追求しています。また、深いスポークを採用したステアリングホイールは、伝統的な美しさを表現しながら、ドライバーが素早く操作できるようなデザインを施しました。また、ステアリングホイールの位置調整が可能なチルト・テレスコピックステアリングを採用したことで、より幅広い体型の方に最適なドライビングポジションを提供します。

・シートは、NISMOの開発で培ったノウハウを活かし、ホールド性とフィット感を向上させています。シートバックにスエードを採用することで、身体の横ブレを抑えて快適なドライブを実現するとともに、コーナリング時の身体の動きも抑制します。

・インテリアカラーは、ブラックとレッドの2色を用意しました。

BOSEサウンドシステムによるプレミアムサウンドと高揚感の演出

新型「フェアレディZ」は、車体・ホイール剛性の向上、吸音音材追加に加え、音の侵入経路を遮断することで、ロードノイズを低減し、静粛性を向上しました。さらに、車内空間に合わせて音場を作り込んだ8スピーカーのBOSE*1サウンドシステム搭載により、プレミアムな音場体験が楽しめます。

また走行時には、リアルタイムにアクセルの踏み込み量・エンジン回転数・ギヤポジションなどの走行情報を読み取り、加速意図とクルマの挙動にシンクロさせた力強く伸びのあるスポーツサウンドを実現しました。

新型「フェアレディZ」は、今年1月に開催された東京オートサロン2022で発表した240台限定の特別仕様車「Proto Spec」とあわせて本年夏*2に発売する予定です。

*1 BOSEは米国Bose Corporationの商標です。

*2 発売時期は当初6月下旬を予定していましたが、昨今の部品供給の影響を鑑み、本年夏に変更させていただきました。なお、部品供給の事情等により、発売予定が前後する可能性がございます。

「フェアレディZ」全国希望小売価格（消費税込み）

駆動	エンジン	グレード	ミッション	価格（円）
2WD	VR30DDTT	フェアレディZ	6MT	5,241,500
		フェアレディZ Version S		6,063,200
		フェアレディZ Version ST		☆ 6,462,500
		フェアレディZ Proto Spec		6,966,300
		フェアレディZ	9MT-ATx	5,241,500
		フェアレディZ Version T		5,687,000
		フェアレディZ Version ST		6,462,500
		フェアレディZ Proto Spec		6,966,300

☆掲載写真車種

「フェアレディZ」主要諸元表（日本仕様）

	フェアレディZ	フェアレディZ Version S	フェアレディZ Version ST	フェアレディZ Proto Spec	フェアレディZ	フェアレディZ Version T	フェアレディZ Version ST	フェアレディZ Proto Spec
エンジン	VR30DDTT 3.0L V6 ツインターボ							
トランスミッション	6速マニュアル				マニュアルモード付フルレンジ電子制御9速オートマチック (9M-ATx)			
最高出力 (kW (PS) /rpm)	298 (405) /6400							
最大トルク (N・m (kgf・m) /rpm)	475 (48.4) /1600-5600							
全長 (mm)	4380							
全幅 (mm)	1845							
全高 (mm)	1315							
ホイールベース (mm)	2550							

フェアレディZのWEBカタログ

<https://www3.nissan.co.jp/vehicles/new/z.html>